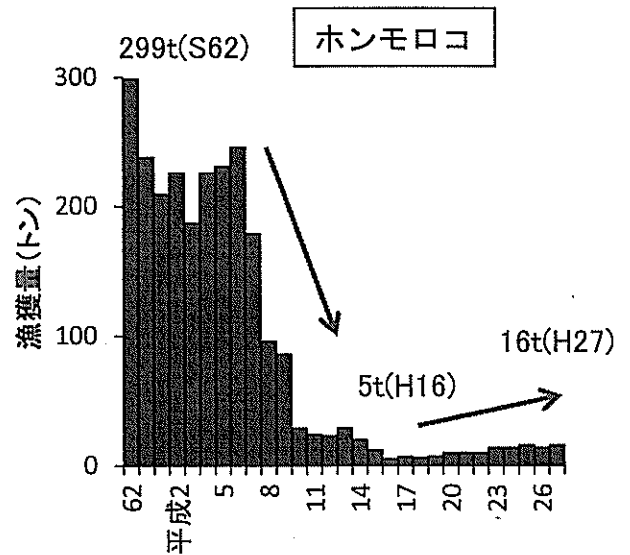
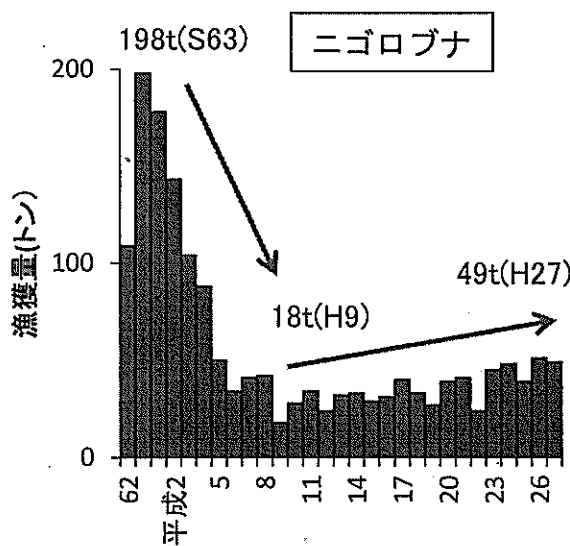
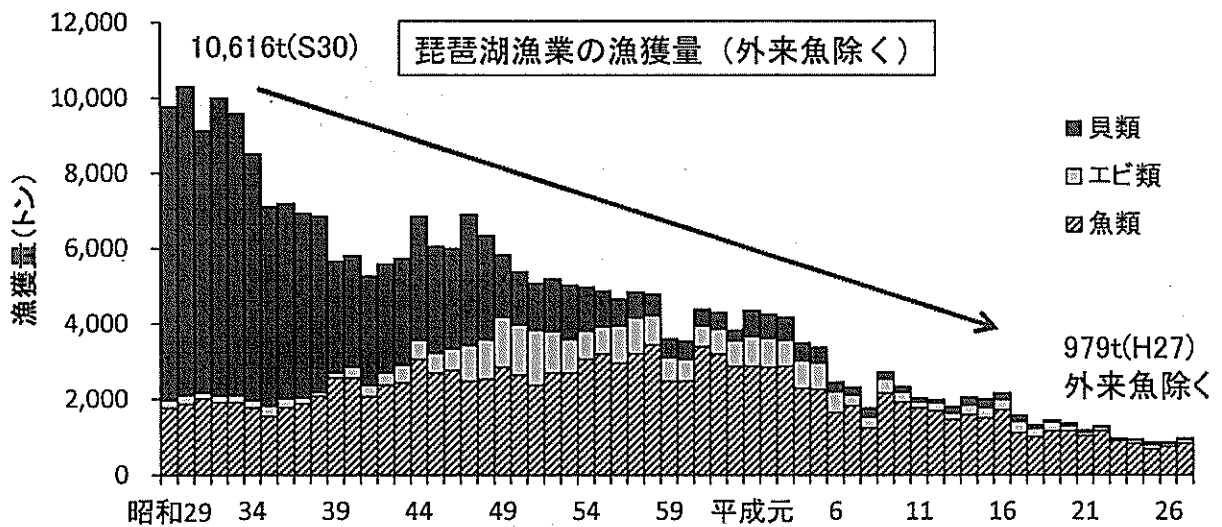


水産資源の保存および管理について

1. 水産資源の現状

- ニゴロブナやホンモロコの漁獲量は、これまでの取組により回復の兆しにあるが、本格的な回復には至らず。
- 琵琶湖全体の漁獲量は、下げ止まり感はあるが、依然、低い水準。

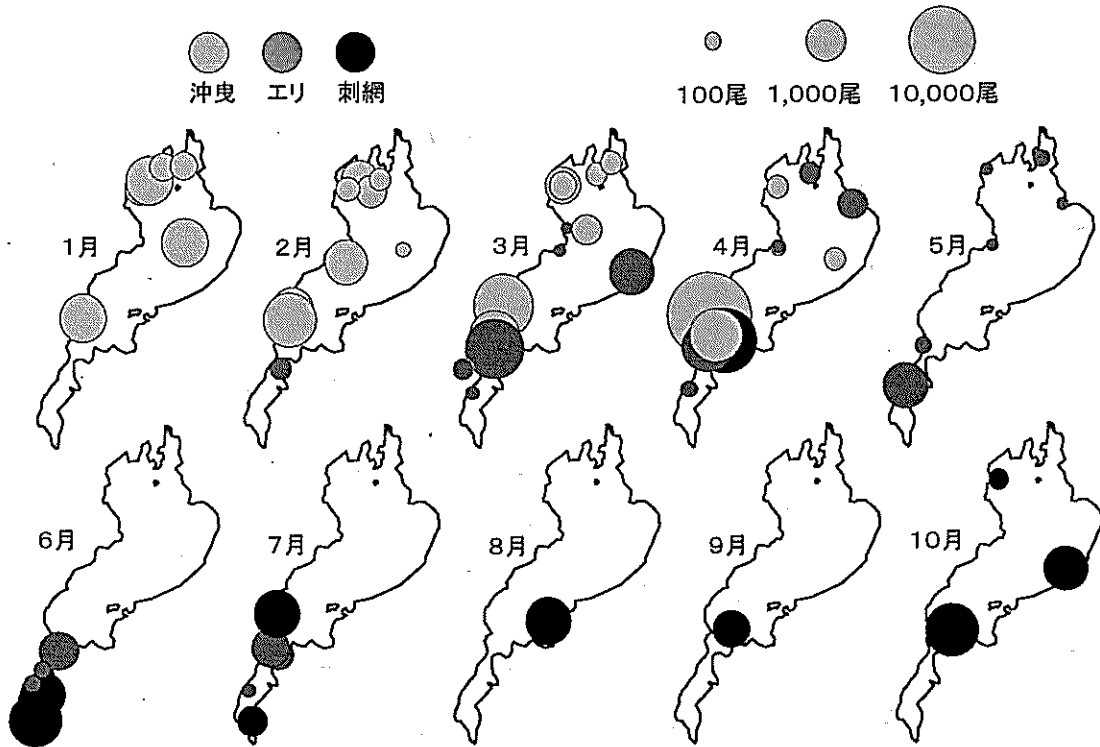
農業・水産業基本計画の目標(平成32年)： 琵琶湖漁業漁獲量 1,600トン(外来魚除く)



※H27の統計値は、いずれも概数値。

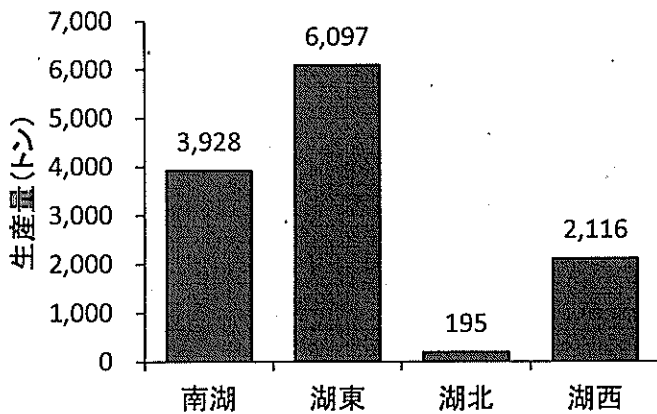
2. 南湖の重要性

- 南湖は、かつてはホンモロコの重要な産卵場。
- 北湖から親魚が来遊し、南湖で生まれた稚魚は北湖へと回遊。

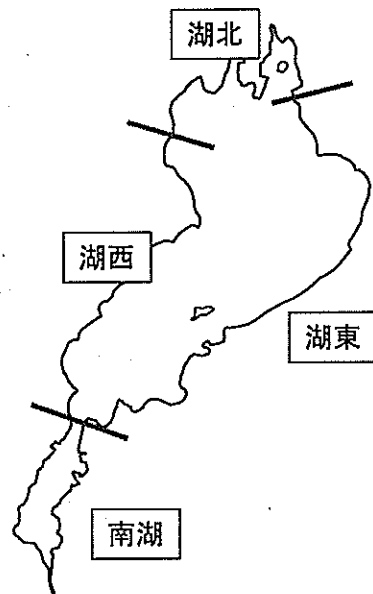


ホンモロコの季節移動(漁場の移り変わり) 平成6年

- 南湖は、かつてセタシジミの重要な漁場。



セタシジミの水域別生産量(※) 昭和28年
 (※各水域の漁場面積に生息量を乗じた値)

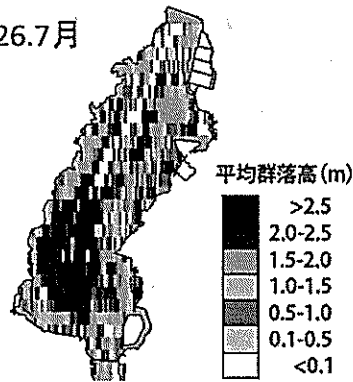


3. 南湖の現状

- 9割の面積を水草が覆い、湖底直上では溶存酸素が低下するとともに、湖底が泥化。 ⇒ 在来魚の回遊経路の閉塞、セタシジミ等貝類の生息場所の減少
- 外来魚の異常繁殖 ⇒ 在来魚の食害
- 現状の南湖は、「琵琶湖のゆりかご」としての機能が著しく低下。

《水草の状況》

H26.7月

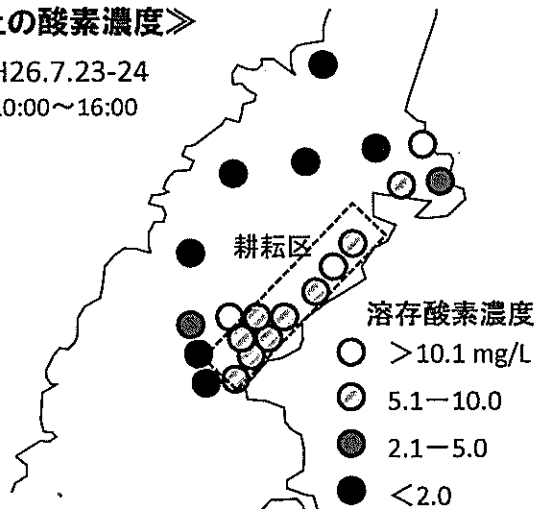


南湖の9割を水草が覆う



《湖底直上の酸素濃度》

H26.7.23-24
10:00~16:00

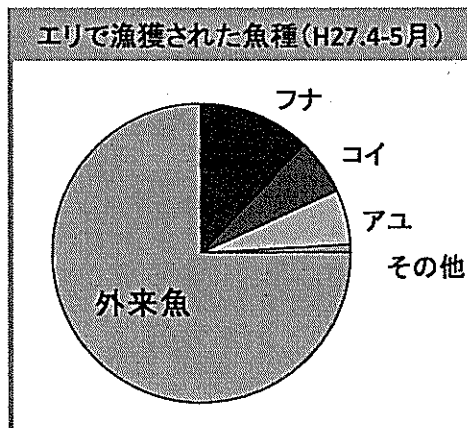


＜漁場の溶存酸素量の臨界濃度＞

(水産用水基準より)

- 底生生物の生存可能な最低濃度 2.9mg/L
- 底生魚類の漁獲に悪影響を及ぼさない底層の濃度 4.3mg/L

《魚類の生息状況》



- 漁獲物の3/4は外来魚が占める

4. 南湖の水産資源回復のための施策

「琵琶湖のゆりかご」南湖を再生する取組（H19～）

- 水草除去（表層刈取り・根こそぎ除去）
- 湖底耕耘、砂地造成
- 外来魚の集中駆除（漁業者・電気ショッカーボート等）
- ニゴロブナ・ホンモロコ・セタシジミ・ワタカ種苗の放流。

これらの取組の成果として、

- 南湖や赤野井湾で放流したホンモロコ稚魚が成長し、北湖で漁獲されることを確認。
- 南湖や赤野井湾の湖岸でホンモロコの産卵を確認。

〔課題〕

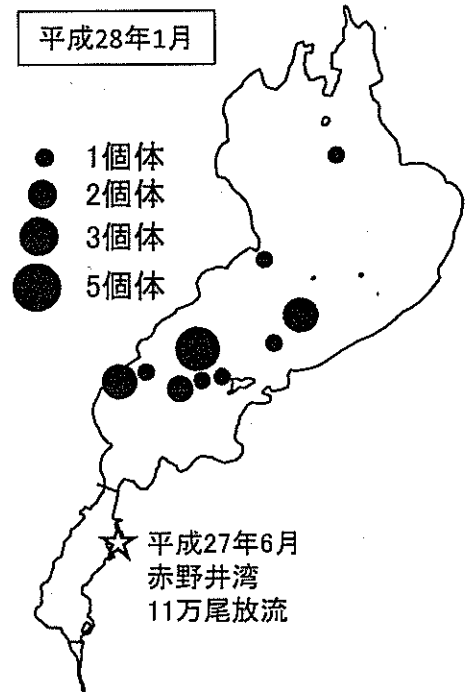
- 水草が南湖の9割繁茂
→湖底の泥化、低酸素化、在来魚の移動阻害。
- 水草の大量繁茂がこれまでの南湖再生の取組の
効果発現を大きく阻害。

〔必要な取組〕

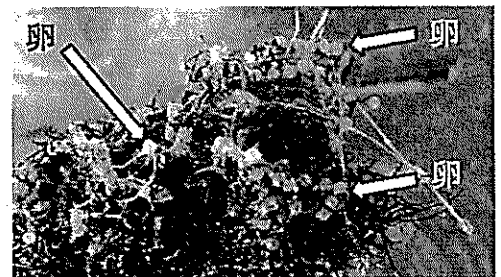
- 本格的な効果発現に向けて、**関係機関の統合的な取組とその規模の拡大が必要。**

★総合戦略（琵琶湖と人の共生プロジェクト）KPI

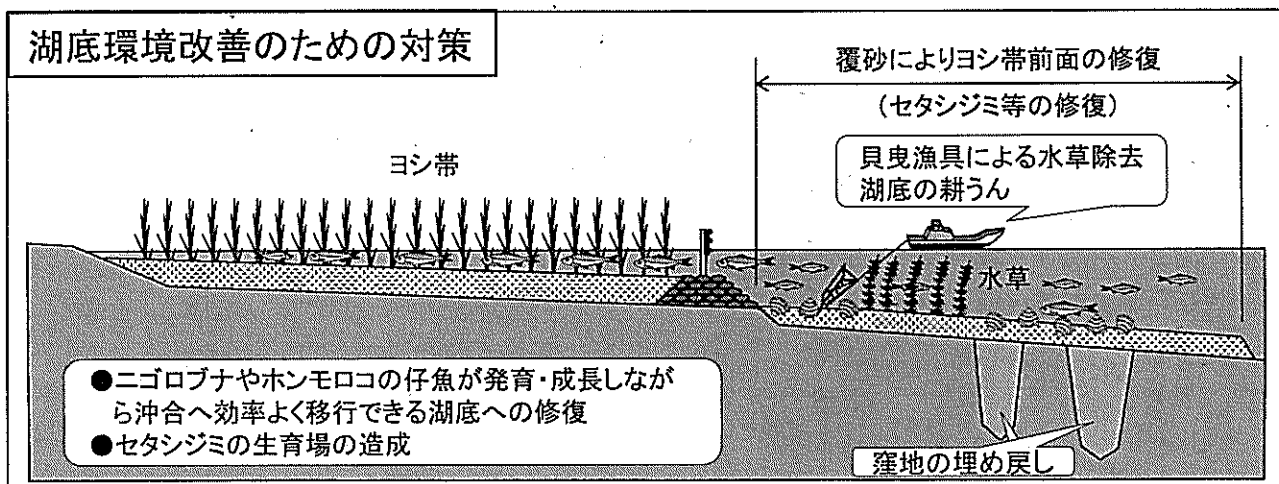
- ー 南湖の水草を40%減少（H26 約50km² → 約30km²）



赤野井湾に放流されたホンモロコの北湖での漁獲場所



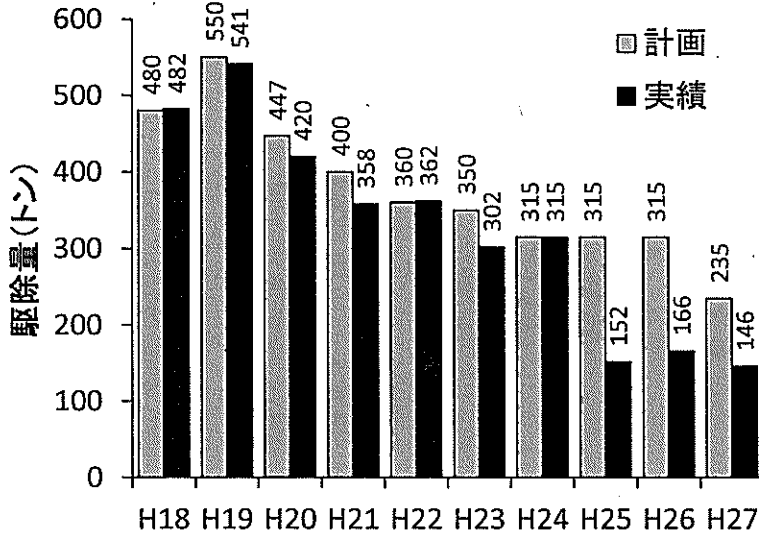
赤野井湾で確認されたホンモロコの卵



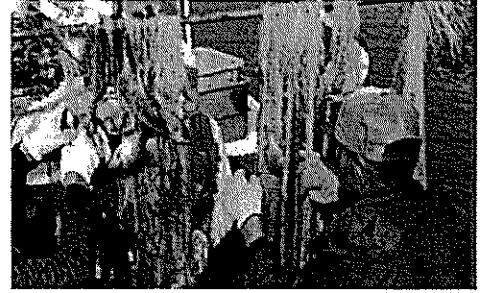
5. 琵琶湖における外来魚駆除の取組

漁業者による駆除

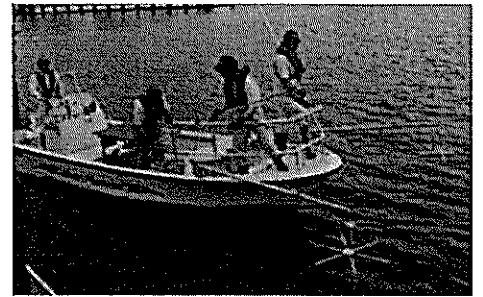
- 既存漁法や電気ショッカーボートを活用し、年間150t以上の外来魚を駆除。



既存漁法による外来魚の駆除量



既存漁法(刺網、えり、沖びき網等)による駆除



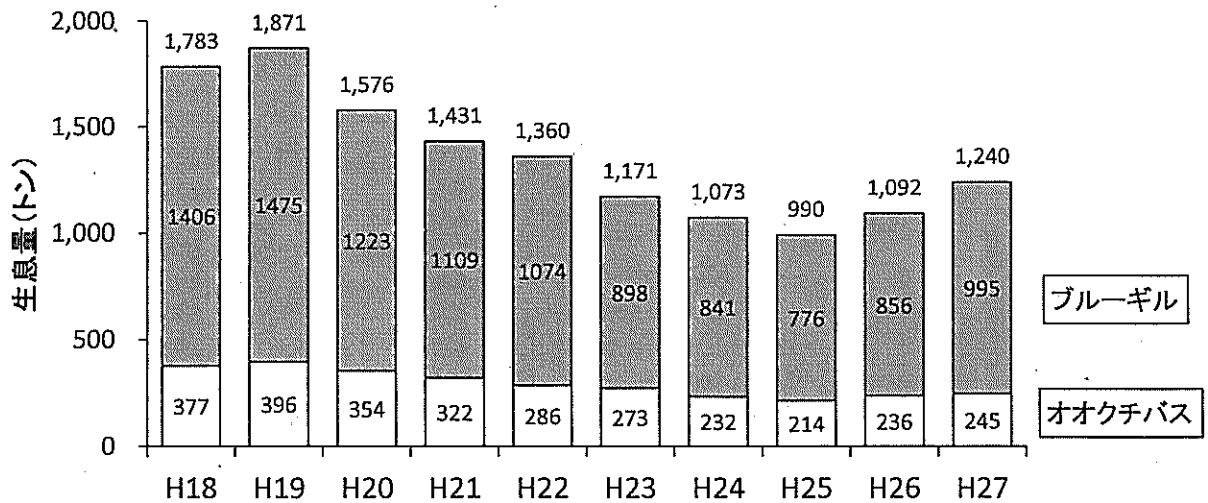
電気ショッカーボートによる駆除

<H25~H27の駆除量減少の原因>

- 梅雨時期の少雨による外来魚の活性の低下 (H25,26)
- 台風による漁具の損壊 (H25)
- 水草の異常繁茂による捕獲作業への支障 (H26,27)
- 国補助金の不足による事業の中断 (H27)

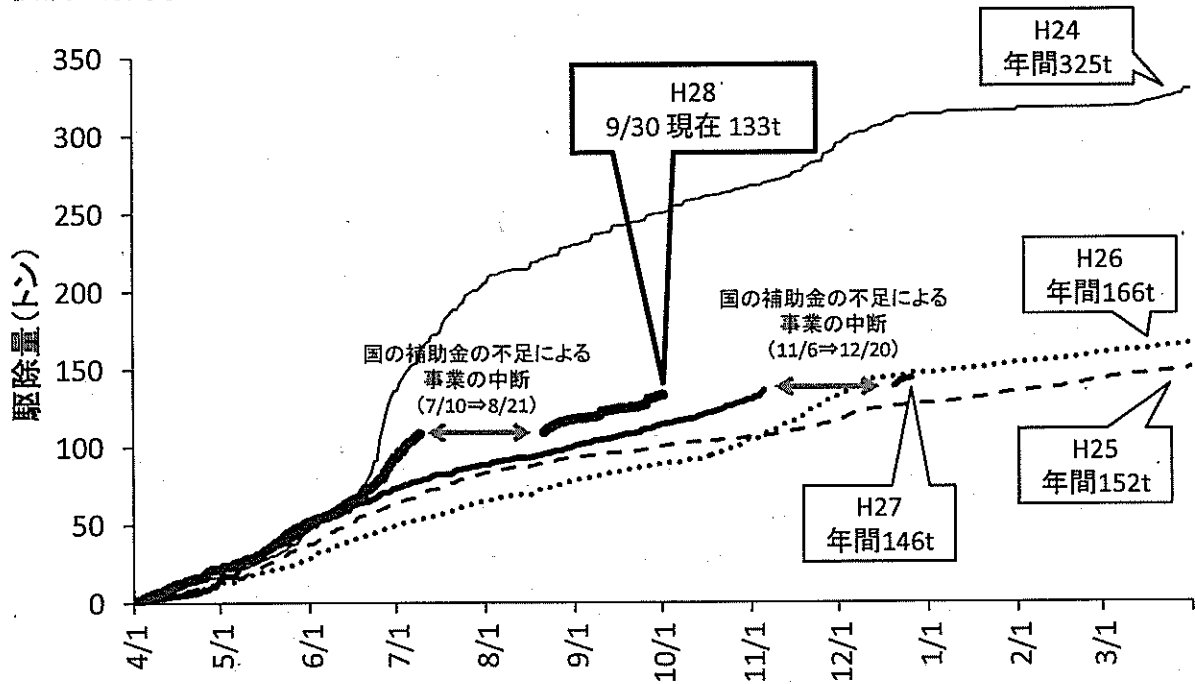
- 外来魚生息量は増加しており、より強力な駆除が必要。

農業・水産業基本計画の目標(平成32年) : 外来魚生息量 600トン



〔外来魚駆除にかかる課題〕

- 漁業者による駆除は、水草の異常繁茂や少雨など自然条件や、事業費(補助金)の確保状況に影響される。

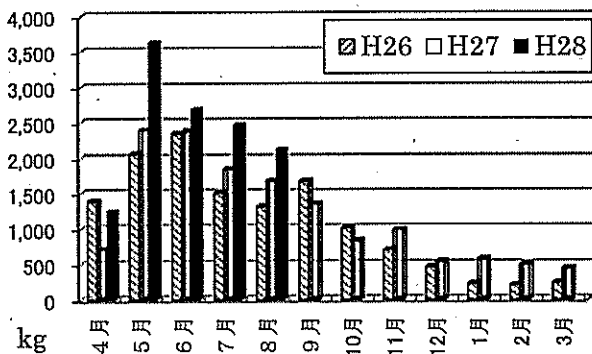


〔今後の対応〕

- 県農業・水産業基本計画に掲げる外来魚生息量の目標値（平成32年度600トン）の達成に向け、駆除量の計画を見直し、これを達成できるよう必要な予算を確保するとともに、琵琶湖保全再生法に基づき、国に対して十分な支援が得られるよう要望中。
- 捕獲状況に応じて、備船による積極的な駆除を行うなど、効果的な取組を実施。

釣り人による駆除

- ア 回収ボックスや回収いけすを設置
- イ びわこルールキッズ事業
- ウ 外来魚釣り上げ隊
- エ 外来魚釣り上げ名人事業 《今年度から実施》



今年度の回収量（4～8月）は増加
 H26.4～H26.8 8.7 t (年間13.3 t)
 H27.4～H27.8 9.1 t (年間14.4 t)
 H28.4～H28.8 12.4 t